

学習支援計画書（シラバス）

学生は、大学生としての基本的な修学能力を育成するために、自らが修学計画を立案、実行していく学習スタイルを構築する必要があります。そのために、各授業科目の目標、教育内容などを明示した学習支援計画書（シラバス）を公開し、教育内容のオープン化を行っています。また、各学期の最終講義時間に行われる自己点検授業では、学習支援計画書に明記している「学生が達成すべき行動目標」について、各自の達成度の確認を行うとともに、場合によっては学習の補足ならびに、習熟度の向上とさらなる意欲の開発に繋げます。さらに、授業の最後に実施する授業アンケートによって、授業実施内容に関する意見を聞くことで、学生と教員とのコミュニケーションおよび授業内容のさらなる充実化を図っています。

学習支援計画書（シラバス）は、みなさんが修学・履修計画を立てる際に、ぜひとも参考にしてください。学習支援計画書には、以下の内容が掲載されています。

評価の要点		評価の実施方法と注意点
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験	①	●個人面談の無断欠席者は1回目の授業を欠席扱いとする。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
タイム テスト	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
●	●個人面談の無断欠席者は1回目の授業を欠席扱いとする。	
10	具体的な達成の目標	標準的な達成レベルの評定
標準的な達成レベルの目標		標準的な達成レベルの評定
<p>●1回目と2回目の授業で、目標を達成する様子によって、次回の目標を設定することができます。</p> <p>●各項目を順次達成するルールに従って、正しく判断し文部省基準を満たすことを評定する。</p> <p>●課題を競争しながら実施し、常に自分の見度と見合って目標を設定する。</p> <p>●自分の意見と他者の意見を対話しながら判断し、まとめて意見をまとめる。</p> <p>●本日の授業の教科を理解し、自己の学習計画を学びできる。</p> <p>●授業にかかる度合い、授業の期間を守るなど、学習にに対する積極的な態度が身に付いている。</p>		<p>●1回目の行動目標を達成することができる。</p> <p>●文部省基準のルールに従い、文章を作成することができます。</p> <p>●会話の内容を書ききりまとめることができる。</p> <p>●自分の意見と他者の意見を対話することができる。</p> <p>●自分の意見と他者の意見を対話することができる。</p> <p>●文部省基準を満たすことができる。</p> <p>●学年・学年や教育課程を理解している。</p> <p>●授業に出来出し、授業の期間を守るなどの学習態度が身に付いている。</p>

- ①科目の基本的な情報である単位数や開講期を記載しています。
 - ②科目担当者情報については、授業開始時に担当教員から案内されます。
 - ③学習教育目標とキーワードおよび授業の概要を記載しています。
 - ④授業で使用される教科書や参考書を記載しています。
 - ⑤履修前に必要とされる知識や技能などを記載しています。
 - ⑥学生の行動目標が明示され、「何ができるようになるか」を記載するとともに、教育プログラムでの教育目標との関係を記載しています。
 - ⑦評価の方法と割合を記載しています。
 - ⑧総合力指標で示す数値は、授業運営上、考慮する総合力についておおよその目安を記載しています。
 - ⑨使用される評価方法ごとに行行動目標との関係と、評価の際の実施方法や注意点など具体的な内容について記載しています。
 - ⑩当該科目で期待される理想的な達成度レベルと、標準的な達成度レベルを記載しています。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習目標(午前・午後)	時間(分)当
第1回 /	●学習基礎知識 （「学習」と「学生」とは？） （「生徒」と「学生」の違い） （「教員」と「先生」の違い） ・大学院修了生（ノートの取り方を含む）の理解 【参考】『修学基礎2012』	指定教室での講義・演習	【午前】 ・前回の定期試験 ・新規ポートフォリオ登録 ・課題1キヤンバリストリーポート 【午後】 ・前回の定期試験 ・新規ポートフォリオ登録 ・課題1キヤンバリストリーポート	30 60 90
第2回 /	●学習基礎（講義・教科書・学習） ・講義（「人文学科」と「人間の」の講義） ・教科書（「人文学科」と「人間の」の見方・概念） ・学習意図の向上 【参考】『修学基礎2012』、『COMPUS NOTE 2012』	多目的ホールでの講義の実地練習 （運営者の立場と視点） ・講義の実地練習 ・問題演習 ・課題1キヤンバリストリーポート 【提出】 ・前回の手動練習 ・問題演習 ・課題1キヤンバリストリーポート （これらの提出について）	【午前】 ・前回の手動練習 ・問題演習 ・課題1キヤンバリストリーポート 【午後】 ・前回の手動練習 ・問題演習 ・課題1キヤンバリストリーポート	30 60 90

e - シラバス

e- シラバスは、学習支援計画書と連動するシステムです。科目によっては、e- シラバス上に詳細な授業内容や教材・課題といった情報が明示されます。予習・復習にも活用し、学びの過程や自らの成長を振り返ることで、さらなる成長への足掛かりにしてください。

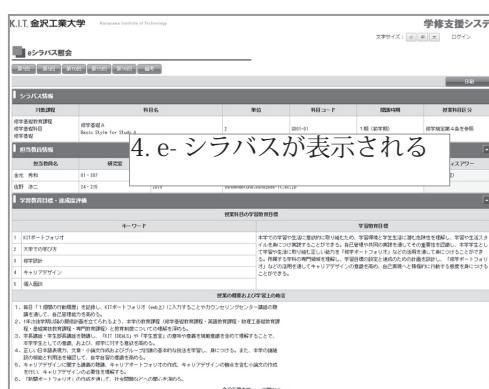
■ e- シラバスへのアクセス方法

下記の手順で学生ポータルから KIT ナビを開き、参照する科目をクリックします。

学生ポータル Top



e- シラバス



e-シラバスの詳しい操作方法は、学生ポータルログイン後の画面左側にある「各種マニュアル」から参照できます。科目によっては、教員からe-シラバス上で課題の提出などを指示される場合があります。マニュアルを読んでも操作が分からぬ場合には、「情報処理サービスセンター(p. 86)」に質問に来てください。